

# へき地山間地の医療状況について 知っていますか？

県内には、医療の確保が困難である南部・東部地域の12市村に16のへき地診療所があり、地域住民の医療を担っています。県では、へき地診療所へ医師を派遣するなど、へき地医療を支援するへき地医療拠点病院とともに、へき地医療を支えています。

## 南奈良総合医療センター

へき地医療支援センター長 明石陽介先生

へき地山間地は医療資源が乏しく、診療所が地域の存続に必要不可欠です。そこで働く医師の役割は大きく、「常に自己研鑽を続け、地域住民のニーズに応えること」が求められます。



当院は「へき地医療拠点病院」として、南部・東部地域のへき地山間地を支援しています。ドクターヘリの基地病院であるとともに、電子カルテ、テレビ会議システムを整備し、各診療所との医療連携も瞬時に行えます。また、ベテラン医師の後方支援はもちろん、これからへき地に赴任する若手医師への教育環境も整えています。



南奈良総合医療センターは、今後も温かく力強く「へき地医療支援」を行っていきます。



## 「宇陀市移動診療車 Uda Mobile Clinic」が運行しています！

宇陀市では、医療機関の少ない地域の医療を支えるため、5月11日より移動診療車の運行を開始しました。

車内には、X線撮影装置や超音波撮影装置、心電図検査機器などが搭載されており、診療所での診療と変わらない医療が提供されます。



### 現在は、大宇陀地域で週3回診療を行っています

【北部】大宇陀人権交流センター 火曜・水曜  
【南部】田原集会所 金曜

診療は、宇陀市立病院地域医療部より医師1人、看護師2人など計6人で行っており、通常の保険診療の他、健康診断、新型コロナワクチンの予防接種など、市民の皆さんの健康推進や病気の予防に努めています。



問 県医師・看護師確保対策室 ☎0742-27-8644 FAX 0742-27-7811